Cisco HyperFlex ソフトウェア ライセンシング

- Cisco HyperFlex の機能とソフトウェア エディションのマトリックス （1 ページ）
- スマート ライセンシングの概要 （7 ページ）
- Exchange ライセンスの使用 （9 ページ）
- 更新 （9 ページ）
- サブスクリプションの拡張 （15 ページ）
- Cisco HX Data Platform ソフトウェア契約の同時終了 （21 ページ）
- Cisco Commerce Workspace でケースを開く （23 ページ）

Cisco HyperFlex の機能とソフトウェア エディションのマトリックス

次の表に、HXDP でサポートされるすべての機能を示します。機能は、ソフトウェア（データ保護など）およびハードウェア（ハードウェア プラットフォームなど）ごとにグループ分けされています。

表 *1 : Cisco HyperFlex* でサポートされている機能のマトリックス

カテゴリ	機能	HXDP エッジ エディション	HXDP スタンダード エディション	HXDP エンタープライズ エディション
ハードウェア プラットフォーム	220 M4 & M5 SFF シャーシ	✓	✓	✓
	240 M4 & M5 SFF シャーシ		✓	✓
	240 M5 LFF シャーシ		✓	✓

カテゴリ	機能	HXDP エッジ エディション	HXDP スタンダード エディション	HXDP エンタープライズ エディション
パフォーマンス	すべての NVMe			✓
	HyperFlex ハードウェア アクセラレーション カード			✓

カテゴリ	機能	HXDP エッジ エディション	HXDP スタンダード エディション	HXDP エンタープライズ エディション
スケール、パフォーマンス、HA、復元力	コンピューティング ノードからコンバージド ノード比率 - 1:1		✓	✓
	コンピューティング ノードからコンバージド ノード比率 - 1:1 ~ 2:1 の範囲。 （注） 2:1 を超える比率はサポートされていません。			✓
	すべてフラッシュ	✓	✓	✓
	最大クラスタ スケール		✓	✓
	データの階層化	✓	✓	✓
	オンライン クラスタの拡張、オンライン クラスタの縮小		✓	✓
	データ パスの冗長性	✓	✓	✓
	NVMe フラッシュ キャッシング		✓	✓
	ロジカル アベイラビリティ ゾーン		✓	✓

カテゴリ	機能	HXDP エッジ エディション	HXDP スタンダード エディション	HXDP エンタープライズ エディション
エッジ スケール	固定スケール(2、3 または 4 ノード)、固定レプリケーション ファクタ 2 (RF2)	✓		
データ サービスおよびセキュリティ	インライン圧縮、パフォーマンスの重複排除	✓	✓	✓
	読み取り/書き込み用 SSD のキャッシング	✓	✓	✓
	SED 自己暗号化ドライブ		✓	✓
	クライアント認証	✓	✓	✓
	クラスタ ロックダウン		✓	✓
	ソフトウェア チェックサム	✓	✓	✓
ネットワーキング	1G/10G 非ファブリック インターコネクト	✓		
	10 G ファブリック インターコネクト		✓	✓
	40 G ファブリック インターコネクト		✓	✓
	仮想分散スイッチ	✓	✓	✓

カテゴリ	機能	HXDP エッジ エディション	HXDP スタンダード エディション	HXDP エンタープライズ エディション
データ保護	NR/DR（1 対 1 DR）	✓	✓	✓
	ディザスタ リカバリのための非同期複製	✓	✓	✓
	vSphere 複製	✓	✓	✓
高度なデータ保護	ストレッチ クラスタ（メトロ アベイラビリティ）			✓
マルチクラウド	VMware ESXi、	✓	✓	✓
	Microsoft Hyper-V		✓	✓
	Kubernetes コンテナの永続ストレージ		✓	✓
	Cisco Container Platform の統合 （注） Cisco Container Platform 用の別のライセンスが必要です		✓	✓

カテゴリ	機能	HXDP エッジ エディション	HXDP スタンダード エディション	HXDP エンタープライズ エディション
基本管理	インストール、アップグレード	✓	✓	✓
	ダッシュボード、カスタマイズ	✓	✓	✓
	モニタリング	✓	✓	✓
	マルチハイパーバイザ管理		✓	✓
	VM の操作	✓	✓	✓
	ネットワーキング構成	✓	✓	✓
	REST API	✓	✓	✓
	マルチクラスタの可視性、List-n-Launch	✓	✓	✓
	マルチクラスタインベントリ、モニタリング、ダッシュボード	✓	✓	✓
	自動サポート（Smart Call Home）	✓	✓	✓
	パフォーマンスの傾向	✓	✓	✓

Cisco Data Center Enterprise Agreement - ライセンス マッピング

次の表では、Cisco Data Center Enterprise Agreement で使用可能な HyperFlex ライセンス階層を HyperFlex ライセンスと連携させる方法について説明します。

表 *2 : HyperFlex* ライセンスと *Cisco Data Center Enterprise Agreement* との連携

Cisco Data Center Enterprise Agreement 階層	HyperFlex ライセンスとの連携
Cisco HyperFlex プレミア	HXDP エンタープライズ エディション
Cisco HyperFlex の利点	HXDP スタンダード エディション

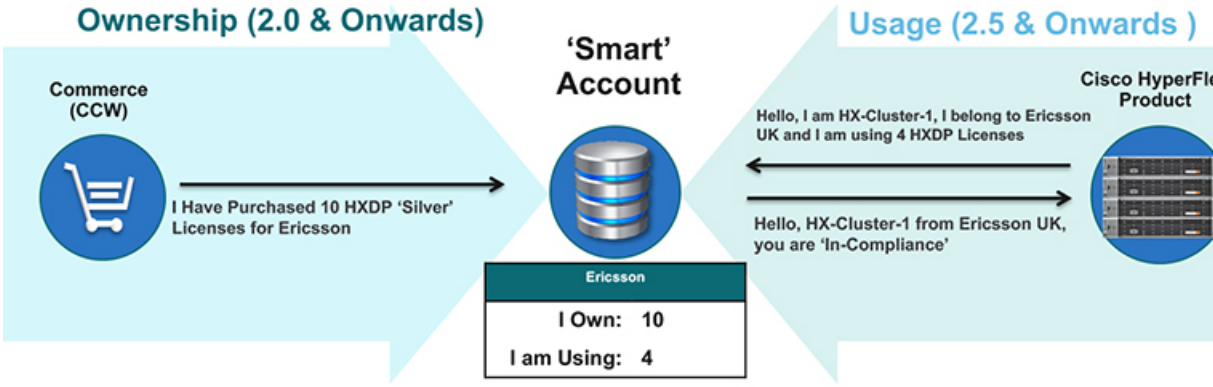
スマート ライセンシングの概要

Cisco HX Data Platform ソフトウェアは、Cisco Commerce Workspace（CCW）で注文できます。

Cisco Smart Licensing とは

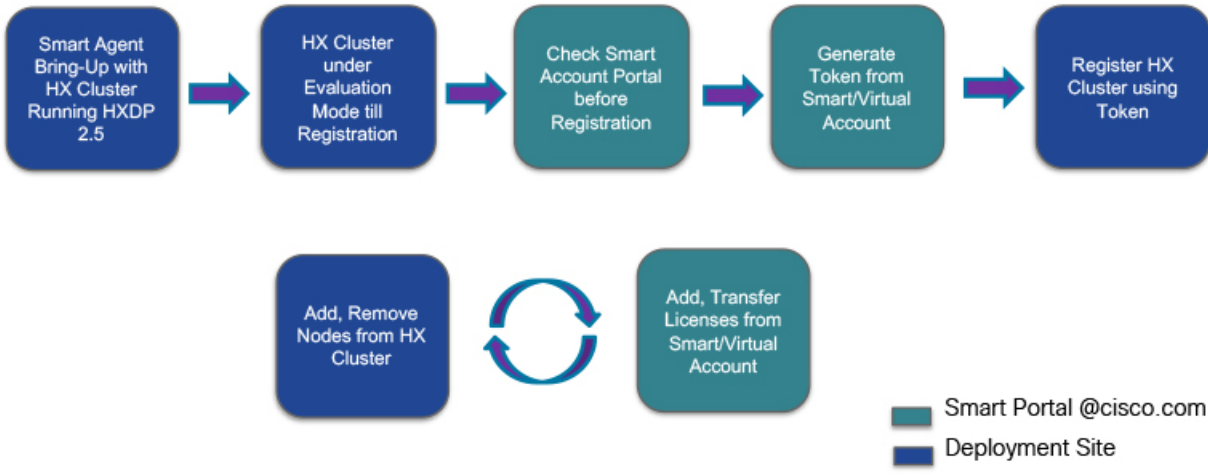
Cisco Smart Licensing は、時間のかかる手動のライセンス タスクを自動化する、クラウドベースのソフトウェア ライセンス管理ソリューションです。このソフトウェアは、ライセンスのステータスやソフトウェア使用率の傾向の追跡を容易にし、3つのコア ライセンス機能である購入、管理、およびレポートをシンプルにします。

次の図は、CCW、スマート アカウント、シスコ製品の間の相互作用がどのように発生するかを示しています。



Smart Licensing のユーザ ワークフロー

次の図は、ユーザ ワークフローを示しています。



ライセンス コマース

スマート アカウントは、シスコが使用する多目的ツールである *Cisco Commerce Workspace*（*CCW*）と連動します。

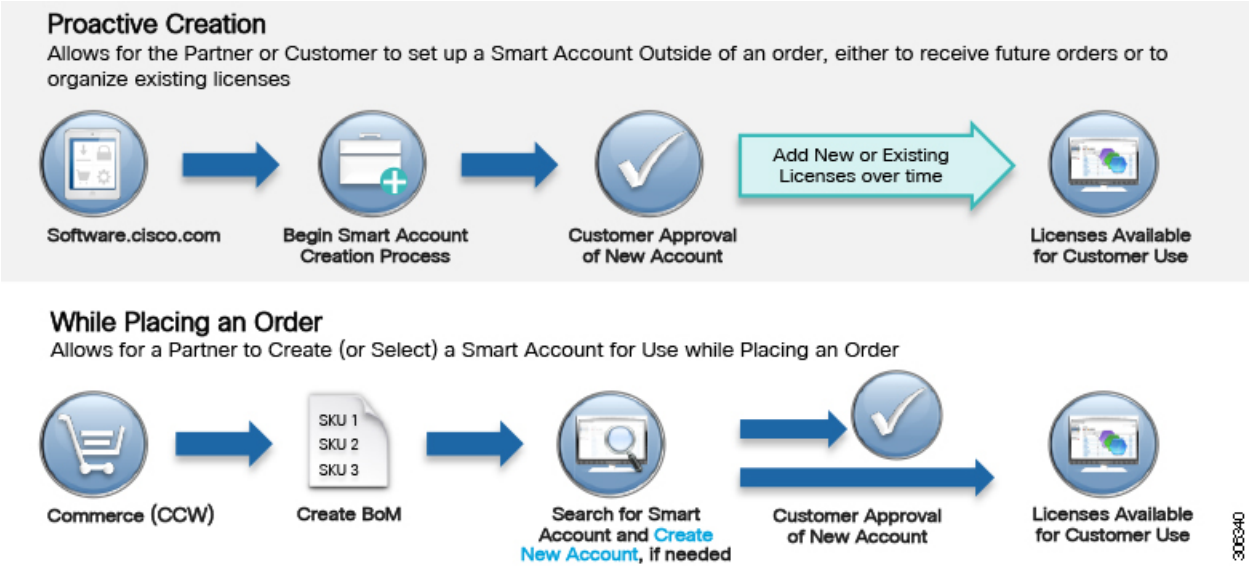
新しいシスコ製品を購入すると、エンドユーザ ライセンス契約書（EULA）の一部にスマート アカウントが含められます。このアカウントにライセンス キーの有効化またはキーは必要ありません。

購入時に、ライセンス権限がスマート アカウントに追加され、使用できるようになります。

権限付与の有効化を可能にするには、HX ノードを SL ポータルに登録する必要があります。次の条件が適用されます。

- スマート モードの付帯
- 90 日間の評価期間 (登録されていない場合)
- バーチャルアカウントまたはトークン（スクリプト）の生成

次の図は、スマートアカウントを作成し、ライセンスの保護に使用する方法を示しています。



永久ライセンス予約について

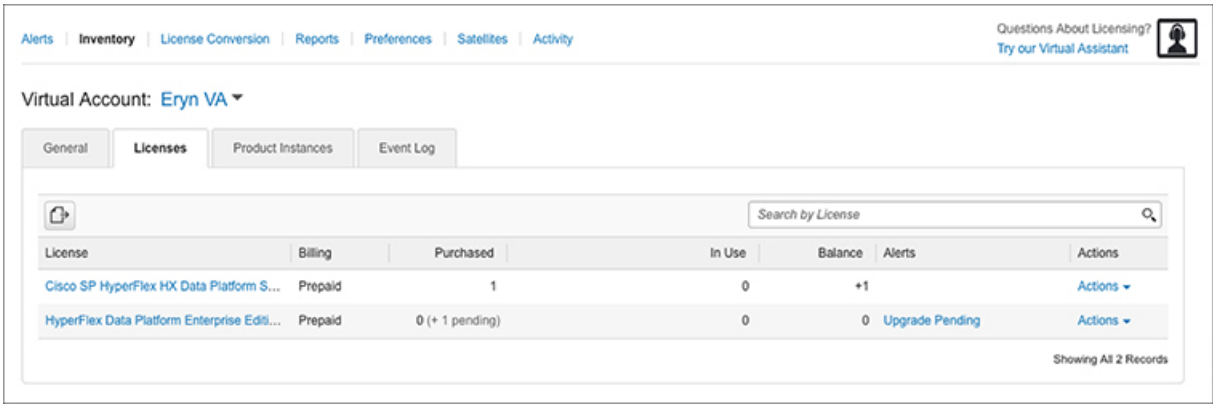
HyperFlex でも、特別な永久ライセンス予約（PLR）製品を提供します。顧客が Cisco Smart License サーバにアクセスできないエアギャップ環境のみで使用できます。HyperFlex PLR ライセンスの例外要求では、正式なビジネス ケースのレビューおよび承認が必要です。ビジネス ケースと要求の理由を含む簡潔な電子メール リクエストを Csp-approval-ch-hxdp-plr-hold@cisco.com に送信します。承認されると、発注手順が表示されます。

Exchange ライセンスの使用

1 つまたは 2 つのライセンスをスマート アカウントで交換できます。

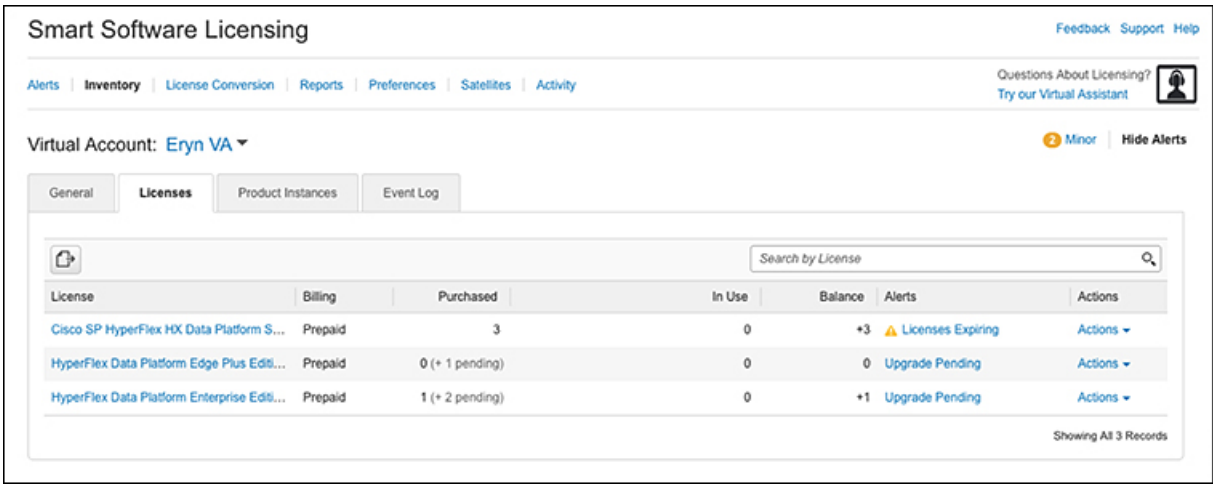
スマート アカウントで 1 つのライセンスを交換する

次の画面は、スマート アカウントの 1 つの HXDP Standard ライセンスを HXDP enterprise ライセンスに交換できる、**[インベントリ（Inventory）]** タブを示しています。



スマート アカウントでの 2 つのライセンスを交換する

次の画面は、スマート アカウントの 2 つの HXDP Standard ライセンスを 2 つの HXDP Enterprise ライセンスに交換できる、**[インベントリ（Inventory）]** タブを示しています。



更新

Cisco HX Data Platform ソフトウェア（HXDP）の更新については、次のガイドラインを考慮に入れてください。

- 古い PID 構造の HXDP ソフトウェアを購入した場合：シスコの販売および運用担当チームは、手動見積を提供し、新しいスペア PID を使用して更新を発注します。新しいサービス契約が作成されます。
- 新しい PID 構造の HXDP ソフトウェアを購入した場合：CCW-R に移動し、シスコの標準的な更新プロセスに従って、既存のサービス契約 ID に基づいて更新します。手動見積による発注は必要ありません。
- HXDP ソフトウェア サブスクリプションには、更新プロセスの一部として更新される**条件およびコンテンツ**が含まれています。SmartNET の契約は HX ノードに関連付けられており、ソフトウェア サブスクリプション更新のために更新する必要はありません。

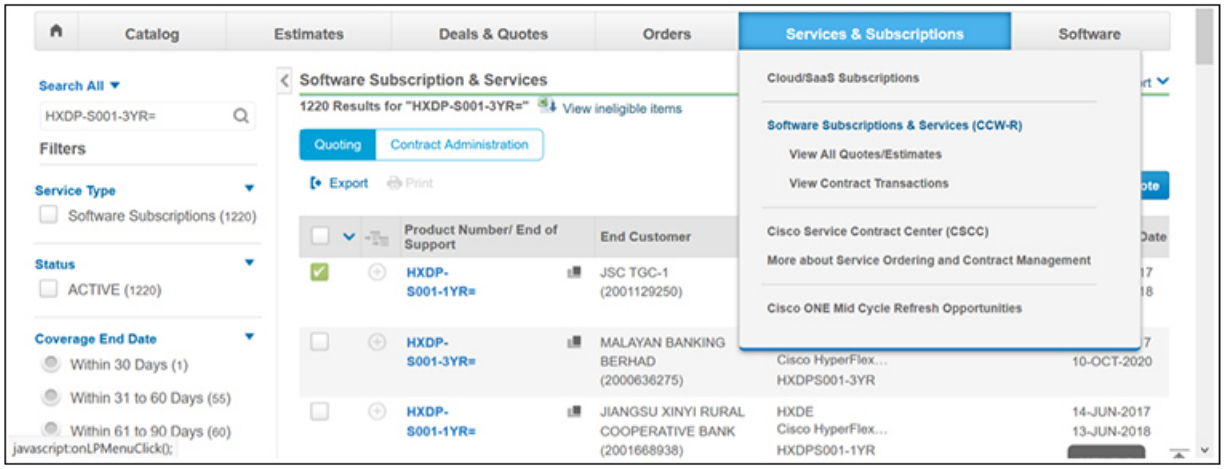
Cisco HX Data Platform ソフトウェアの更新

ソフトウェア サブスクリプションを更新するには、次の手順を実行します。

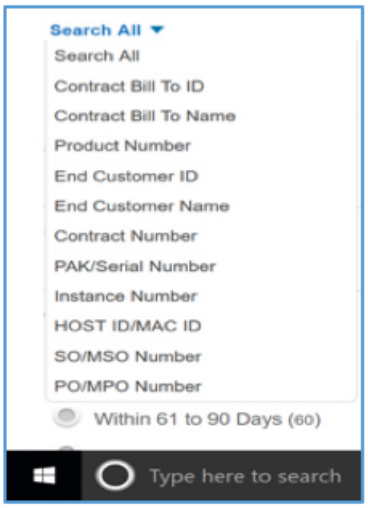
ステップ 1 Webブラウザを起動し、Cisco Commerce URL に移動します。

ステップ 2 Cisco.com のログイン画面で、Cisco.com のユーザ ID とパスワードを入力します。

ステップ 3 **[サービスとサブスクリプション（Services and Subscriptions）]** タブで **[ソフトウェアサブスクリプションとサービス（CCW-R）（Software Subscriptions and Services（CCW-R））]** をクリックします。



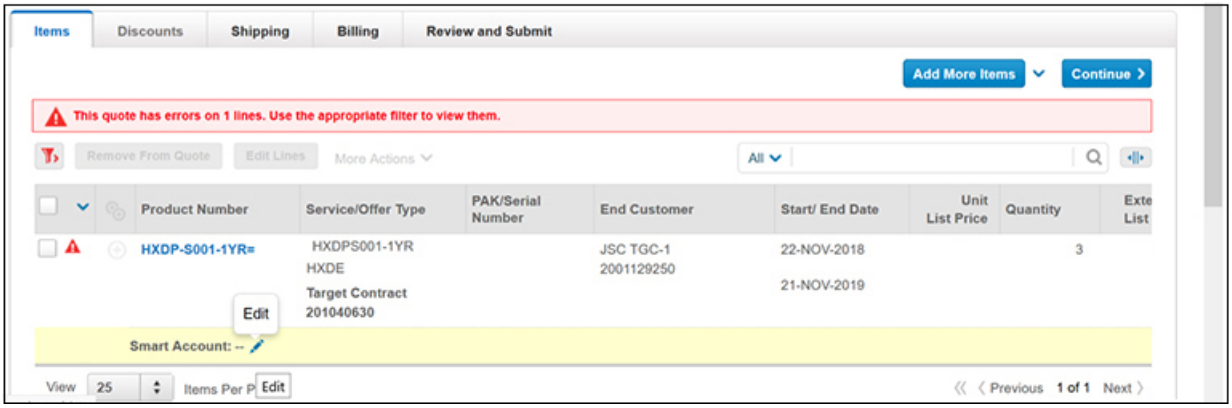
ステップ 4 更新する契約/SKU を検索します。次のスクリーン ショットに示されているオプションのいずれかを使用して検索できます。



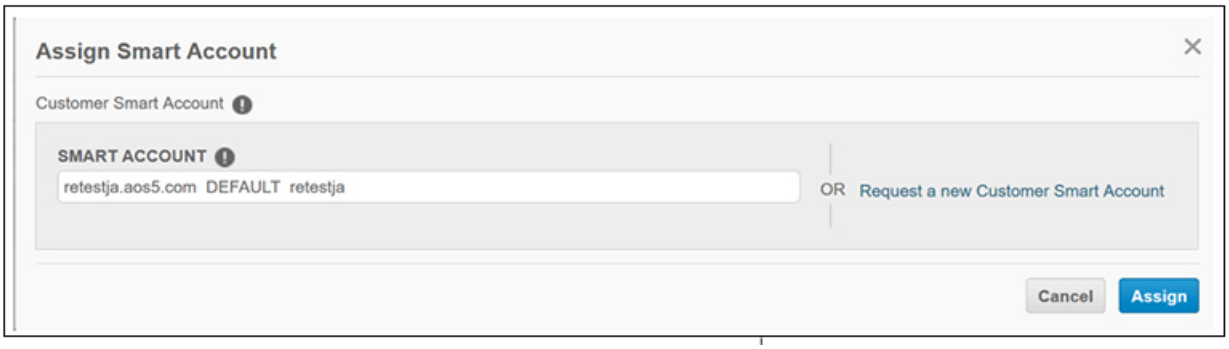
ステップ 5 更新する回線を選択して、**[見積の作成（Create Quote）]** をクリックします。

ステップ 6 **[続行（Continue）]** をクリックし、更新に必要なすべての詳細情報を入力します。

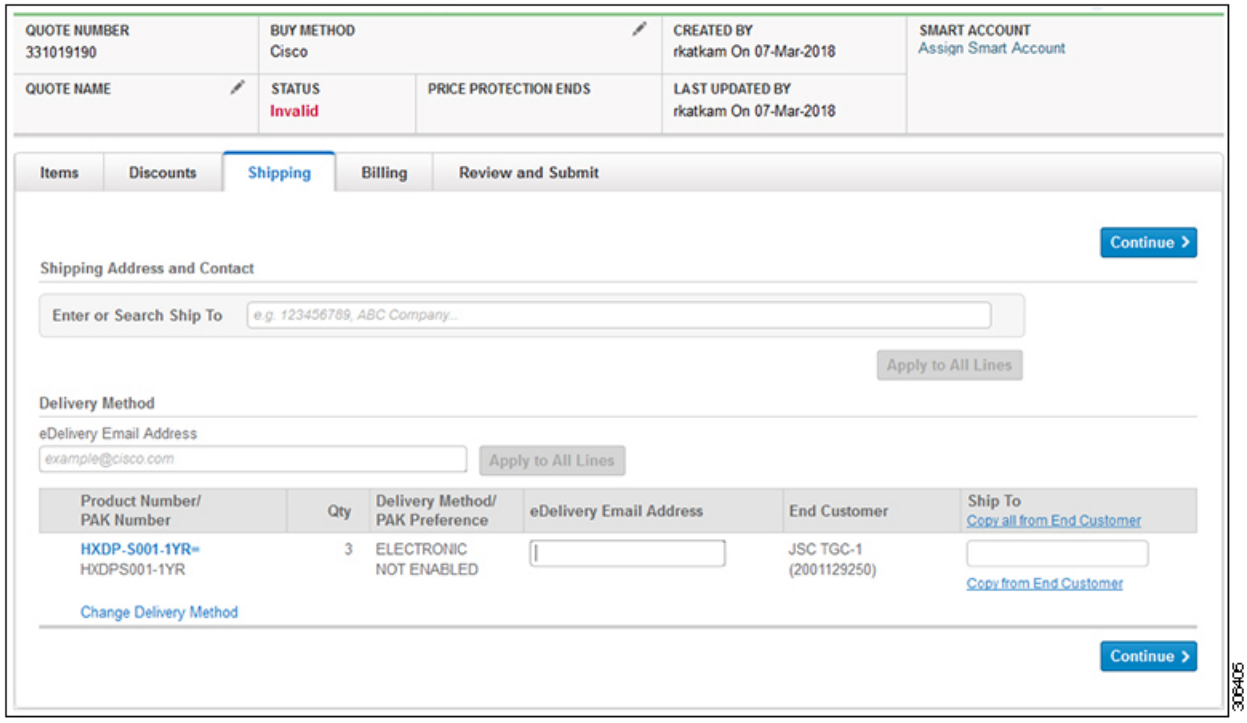
ステップ 7 **[スマートアカウント…（Smart Account…）]** の横にある **[編集（Edit）]** アイコンをクリックします。。



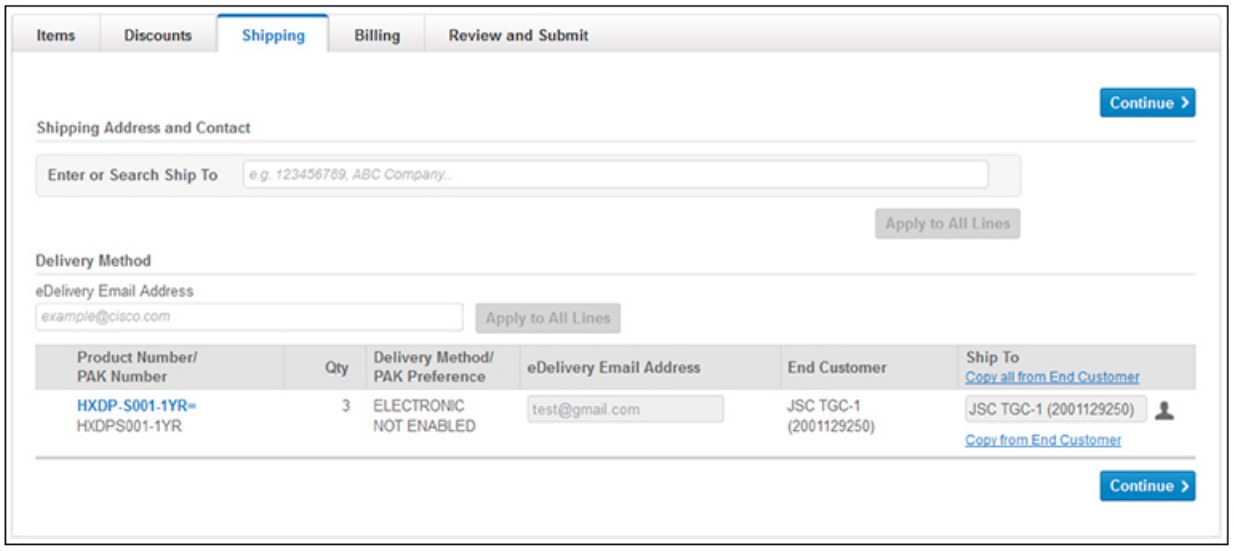
ステップ 8 **[スマートアカウントの割り当て（Assign Smart Account）]** ダイアログボックスで、**[割り当て（Assign）]** をクリックします。



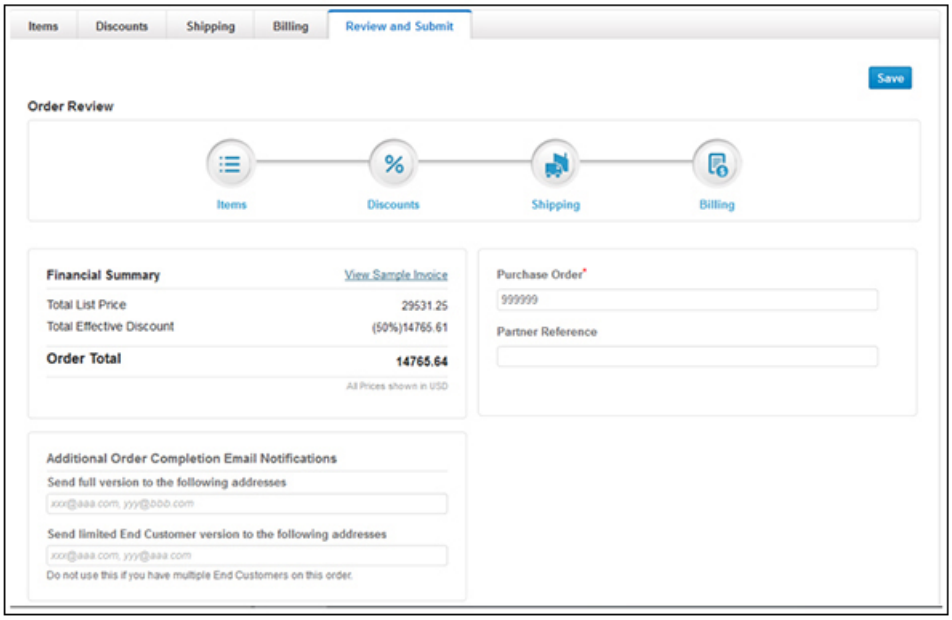
ステップ 9　**[出荷（Shipping）]** タブで、**[出荷先を入力または検索（Enter or Search Ship To）]** および **[電子配信用電子メールアドレス（eDelivery Email Address）]** フィールドに情報を入力し、**[続行（Continue）]** をクリックします。



ステップ 10　入力された出荷情報で **[出荷（Shipping）]** タブが更新されます。



ステップ 11　**[確認&送信（Review and Submit）]** タブで、発注書の情報を入力し、**[保存（Save）]** をクリックします。



Generation 1.6 および 1.7 の HXDP ソフトウェア SKU の更新

1.6 および 1.7 世代は、2016 年に HyperFlex が発表された時点で HX バンドルで利用可能だった古い世代の HX Data Platform（HXDP）SKU です。その後、シスコは SKU の構造を変更し、スマート ライセンスの使用を開始しました。現在、初期の HXDP SKU を CCWR で更新することはできません。HXDP サブスクリプション ライセンスをもう一度購入することにより更新できます。

次の手順で Generation 1.6 および 1.7 の HXDP ソフトウェア SKU を更新します。

ステップ 1 HXDP サブスクリプション ライセンスをもう一度購入します。

ステップ 2 更新には、次の HXDP SKU を使用します。

Generation 1.6 および 1.7 の HXDP ソフトウェア SKU	更新に使用する SKU
HX-SP-DP-001-1YR	HXDP-S001-1YR=
HX-SP-DP-001-2YR	HXDP-S001-2YR=
HX-SP-DP-001-3YR	HXDP-S001-3YR=
HX-SP-DP-001-4YR	HXDP-S001-4YR=
HX-SP-DP-001-5YR	HXDP-S001-5YR=
HXDP-001-1YR=	HXDP-S001-1YR=
HXDP-001-2YR=	HXDP-S001-2YR=

Generation 1.6 および 1.7 の HXDP ソフトウェア SKU	更新に使用する SKU
HXDP-001-3YR=	HXDP-S001-3YR=
HXDP-001-4YR=	HXDP-S001-4YR=
HXDP-001-5YR=	HXDP-S001-5YR=

期間に基づくソフトウェア PID の選択

Cisco HX Data Platform ソフトウェアを更新する場合は、期間とライセンス層に基づいて適切なソフトウェア ライセンス PID を選択してください。ソフトウェア更新 PID は期間が制限されていることに注意してください。必要な終了日に対応する PID を選択します。たとえば、標準の 1 年間の HXDP ライセンスを 30 ヵ月間に更新する場合は、更新期間内の範囲に対応する HXDP SKU を選択します。この場合、HXDP-S001-2YR = です。

次の表に、各ソフトウェアライセンス PID の最短および最長期間を示します。

表 *3 : HX* ソフトウェア ライセンスの最短および最長期間 *(*標準*)*

HXDP SKU	ライセンス階層	最小継続時間 (月数)	最大継続時間 (月数)
HXDP-S001-1YR=	標準	12	24
HXDP-S001-2YR=	標準	24	36
HXDP-S001-3YR=	標準	36	48
HXDP-S001-4YR=	標準	48	60
HXDP-S001-5YR=	標準	60	61

表 *4 : HX* ソフトウェア ライセンス *(*エンタープライズ*)* の最短および最長期間

HXDP SKU	ライセンス階層	最短期間	最長期間
HXDP-P001-1YR=	エンタープライズ	12	24
HXDP-P001-2YR=	エンタープライズ	24	36
HXDP-P001-3YR=	エンタープライズ	36	48
HXDP-P001-4YR=	エンタープライズ	48	60
HXDP-P001-5YR=	エンタープライズ	60	61

表 *5 : HX* ソフトウェア ライセンス *(Edge)* の最短および最長期間

HXDP SKU	ライセンス階層	最短期間	最長期間
HXDP-E001-1YR=	エッジ	12	24
HXDP-E001-2YR=	エッジ	24	36
HXDP-E001-3YR=	エッジ	36	48
HXDP-E001-4YR=	エッジ	48	60
HXDP-E001-5YR=	エッジ	60	61

サブスクリプションの拡張

次に、更新見積を 3 年延長する手順の例を示します。

始める前に

Cisco Commerce Workspace – Renewals（CCW-R）を使用して、ソフトウェア サブスクリプションを購入および更新できます。CCW-R の **[ソフトウェアサブスクリプションとサービス（Software Subscriptions & Services）]** サブタブは、サービスとソフトウェアの包括的な更新用ツールです。サブスクリプション契約を更新すると、見積書に新しいサブスクリプションを追加することができます。

サブスクリプションを延長する前に、次の要件を満たしていることを確認します。

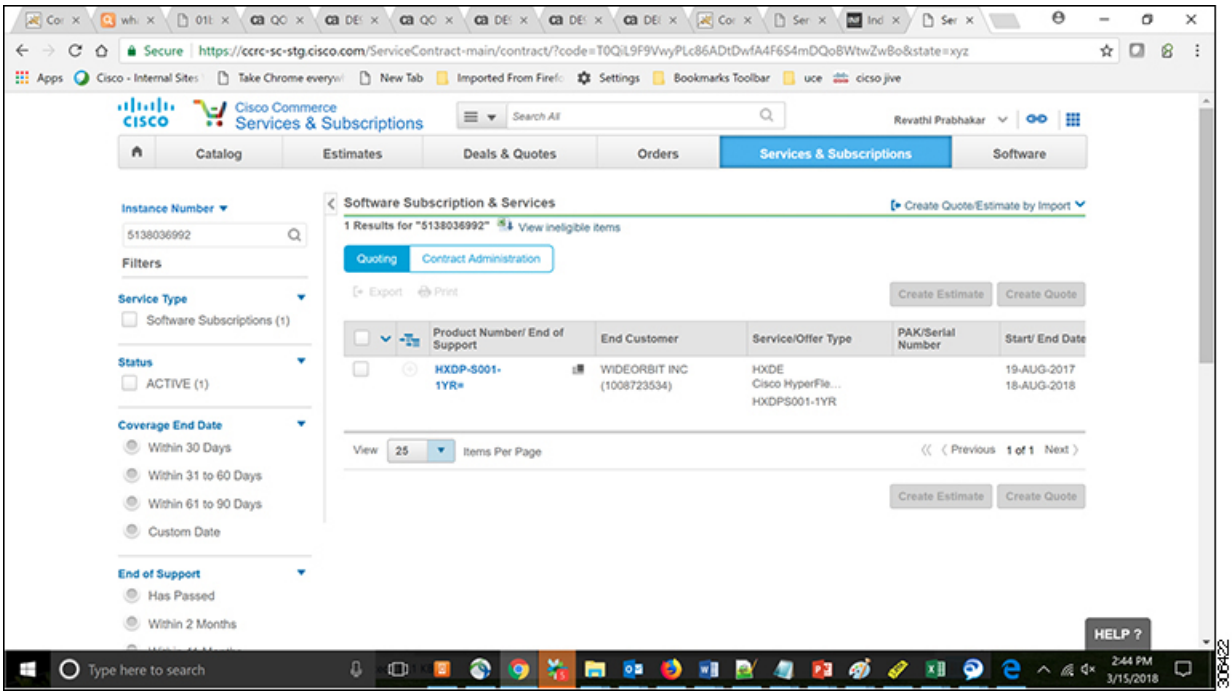
- Cisco Commerce Workspace（CCW-R）を使用して契約を更新するには、サブスクリプション契約のステータスがアクティブ、署名済み、または期限切れである必要があります。
- Cisco HX Data Platform ソフトウェアをシスコのスマート ライセンスで有効にするためには、**スマート アカウント**が必要です。
- 使用可能な新しい PID があることを確認します。製品情報および SKU ID を参照して PID を取得します。

ステップ 1 Webブラウザを起動し、Cisco Commerce URL に移動します。

ステップ 2 Cisco.com のログイン画面で、Cisco.com のユーザ ID とパスワードを入力します。

ステップ 3 **[サービスとサブスクリプション（Services and Subscriptions）]** タブに移動します。**[ソフトウェア サブスクリプションとサービス（Software Subscriptions & Services）]** をクリックします。

ステップ 4 延長する契約を検索します。たとえば、`513803699` を検索します。

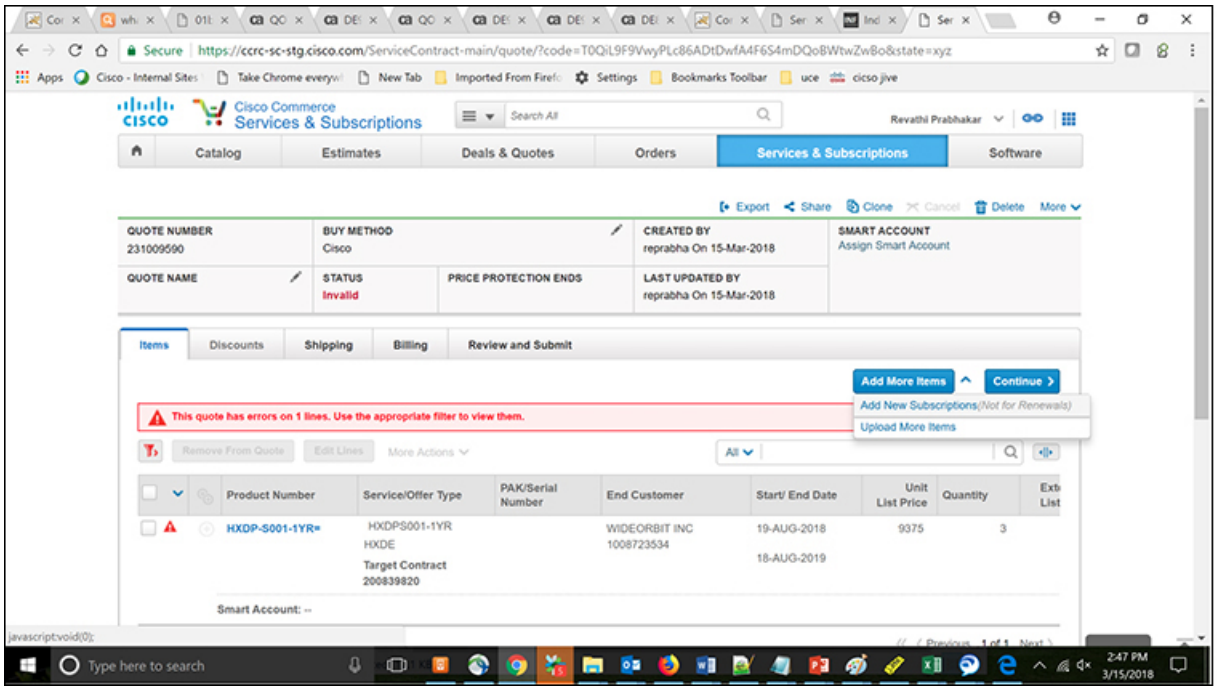


ステップ 5 **[ソフトウェアサブスクリプションおよびサービス（Software Subscription & Services）]** ページで、契約を選択します（この例では、`[HXDP-S001-1YR=]` を選択します）。

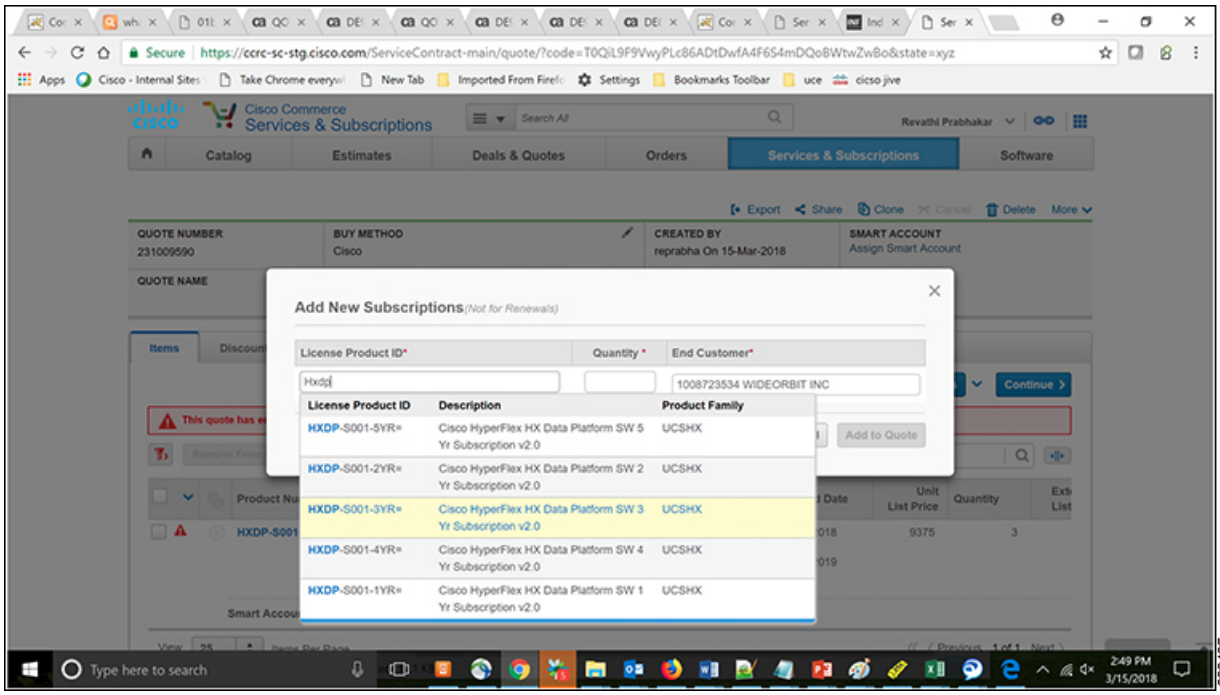
（注） この SKU の例では、1 年間有効な契約が作成され、1 年間のサブスクリプション SKU になります。

ステップ 6 **[見積の作成（Create Quote）]** をクリックします。

ステップ 7 **[新しいサブスクリプションの追加（Add New Subscriptions）]** ドロップダウンで **[品目を追加（Add More Items）]** をクリックします。

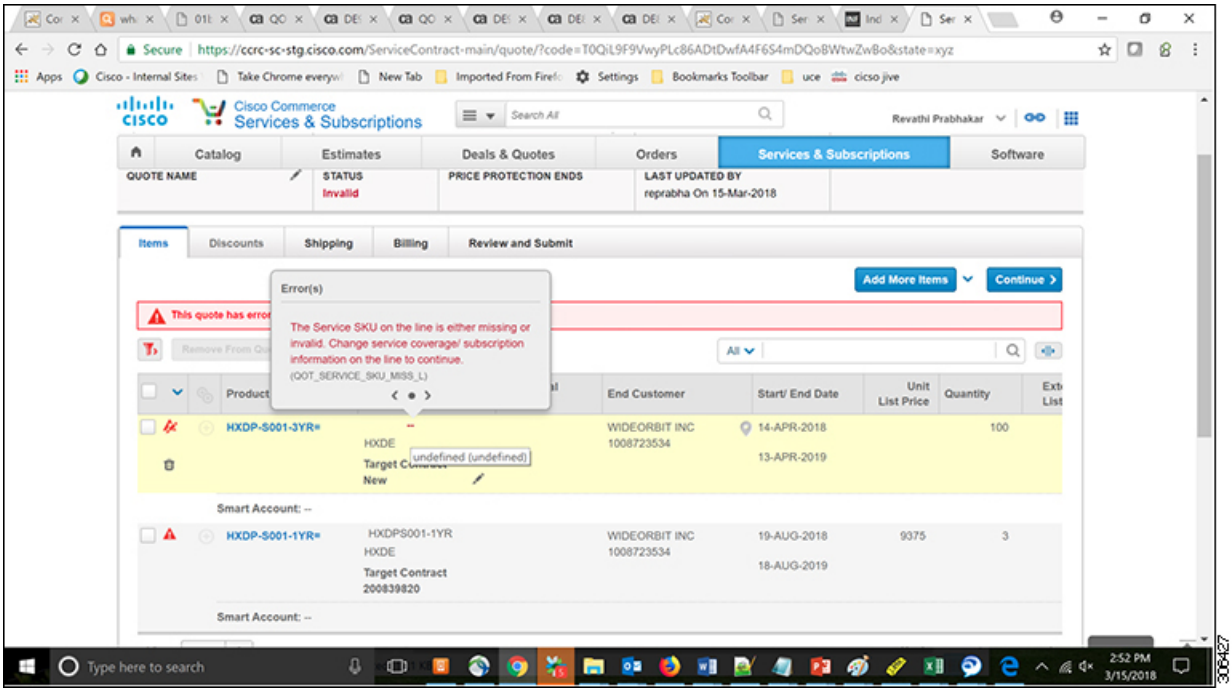


ステップ 8 **[新しいサブスクリプションの追加（Add New Subscriptions）]** ダイアログボックスで、**[ライセンス製品ID（License Product ID）]**（この例では、HXDP を使用）を入力して、サブスクリプション SKU を検索します。サブスクリプションの **[数量（Quantity）]** と **[エンドカスタマーID（End Customer ID）]** を入力します。3 年 SKU（HXDP-S001-3YR=）を選択し、**[見積に追加（Add to Quote）]** をクリックします。

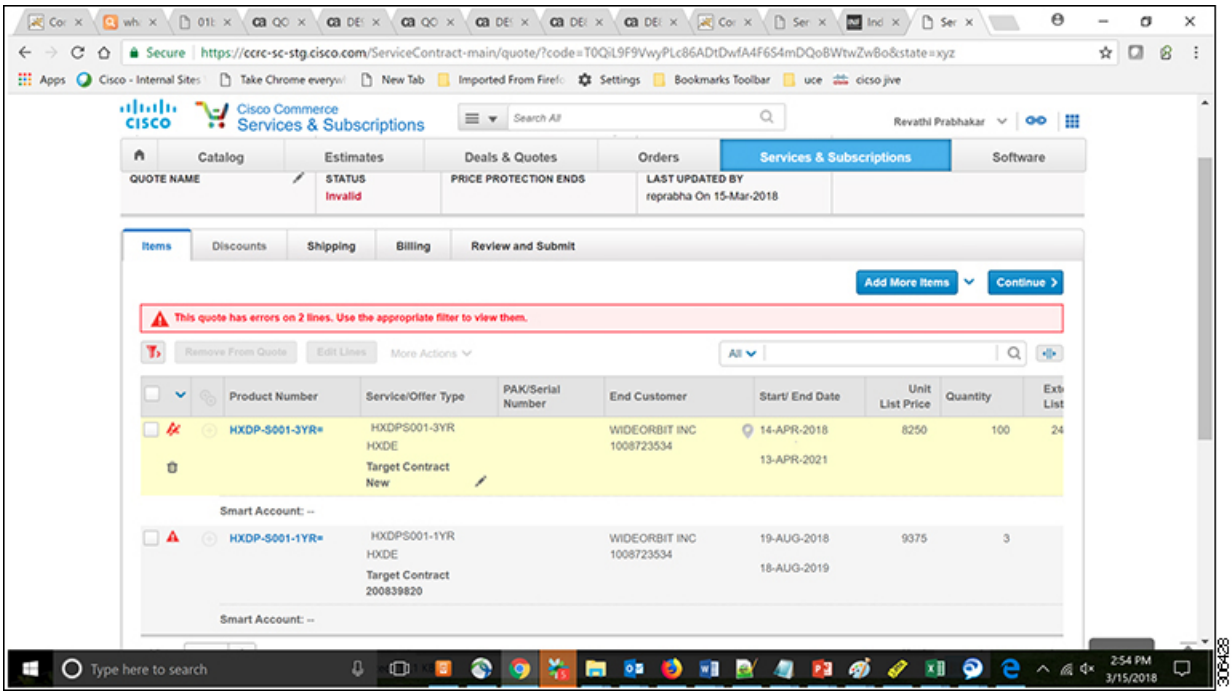


ステップ 9 前の手順で追加された品目（HXDP-S001-3YR=）が **[品目（Items）]** タブに表示されます。

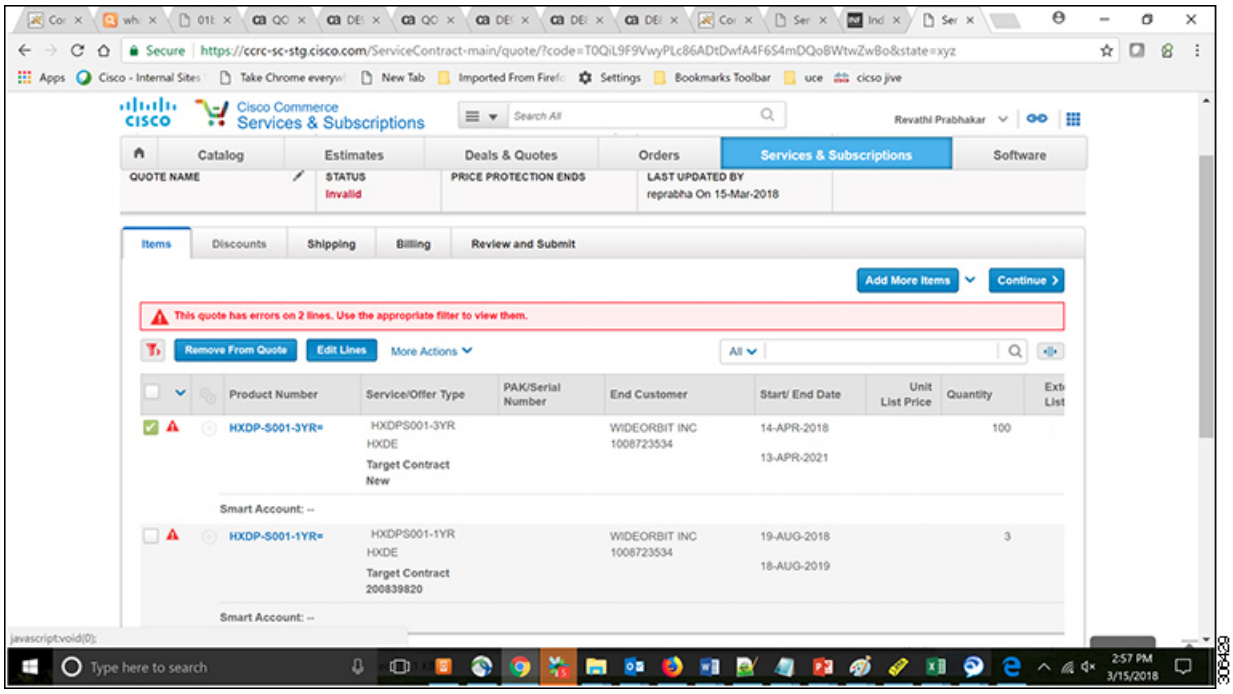
ステップ 10 終了日が正しくないため（**2018 年 4 月 14 日**から 2019 年 4 月 13日は、3 年間ではなく 1 年間）、次の SKU MISS エラーが発生します。



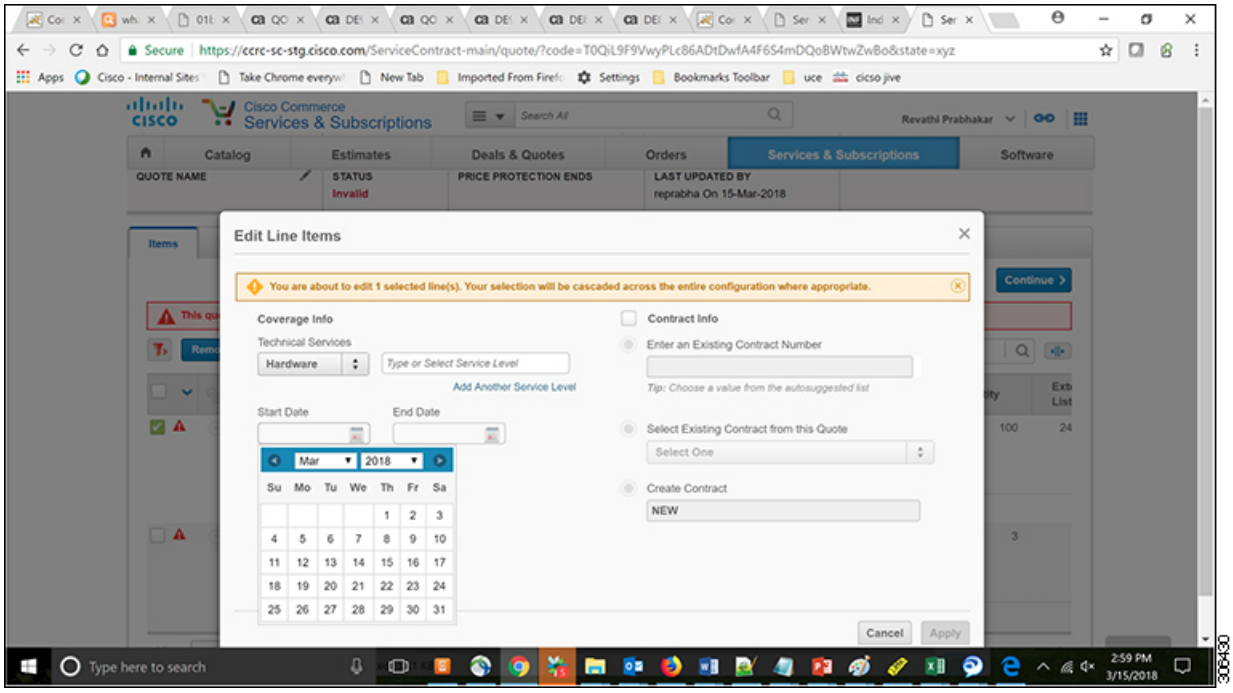
ステップ 11 このエラーを解決するには、期間が 3 年間になるように終了日を変更します。



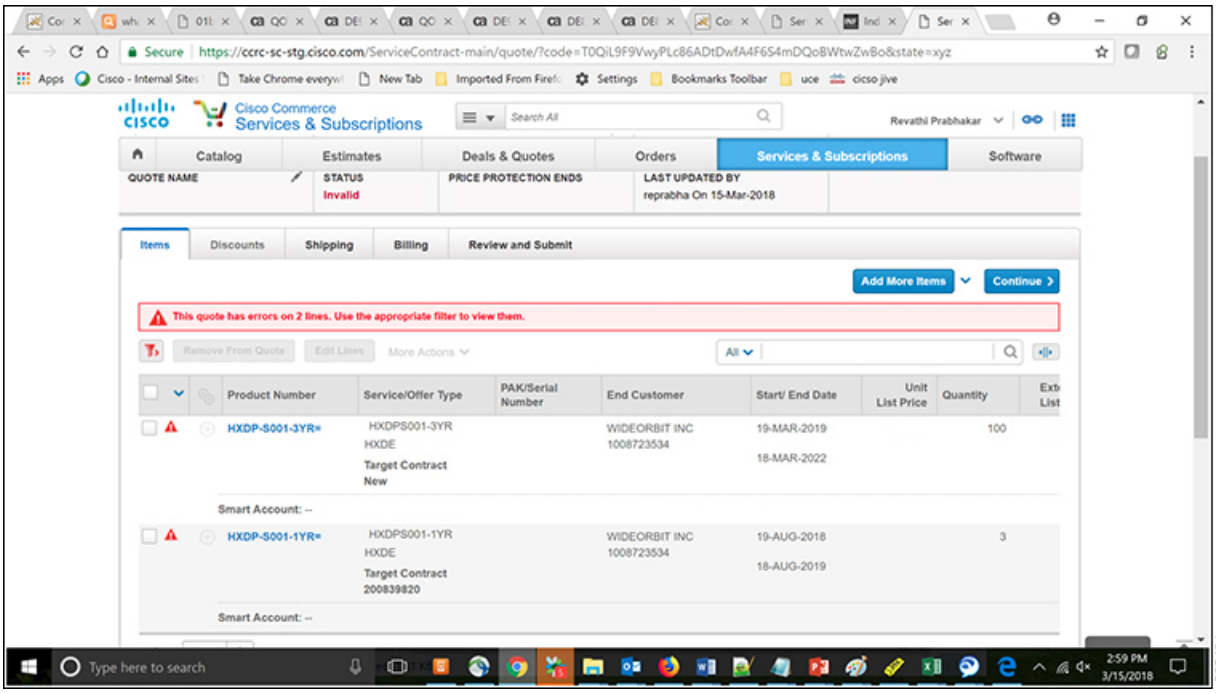
ステップ 12 この例では、SKU の契約期間が正しくありません。4 年契約の連続注文になっていません。



ステップ 13 正しい注文にするには、鉛筆アイコンを使用して SKU の **[開始/終了日（Start/End Date）]** を修正します。

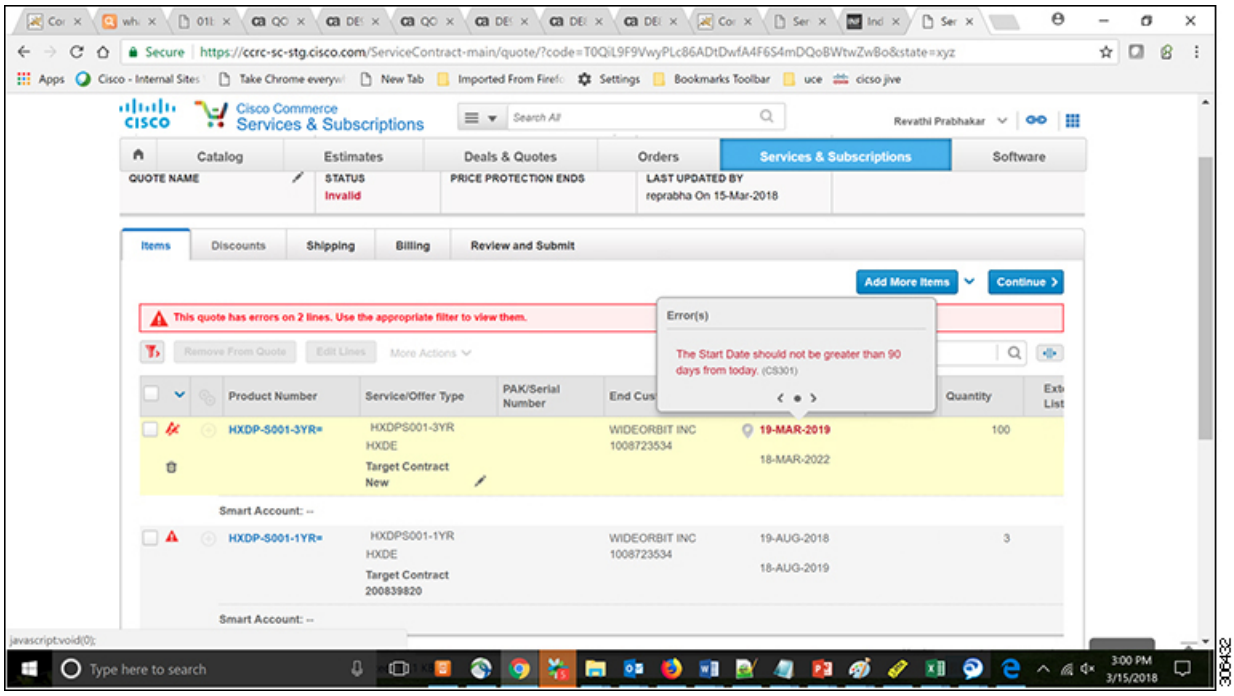


ステップ 14 次のスクリーンショットは、修正された SKU 契約期間を表示しています。



（注） ライセンスを延長し、現在のサブスクリプションの最後から開始する必要があるが、開始日が 90 日の期間を超えている場合は、Cisco Commerce Workspace ケースをオープンして要求する必要があります。詳細については、Cisco Commerce Workspace でケースを開く （23 ページ）を参照してください。

ステップ 15 この画面に表示される見積のエラーについては、例外を受信するためのケースを作成します。ケースが有効になると、見積の契約期間が確定されます。



Cisco HX Data Platform ソフトウェア契約の同時終了

ソフトウェア サブスクリプションおよびサービスでの見積の際に、契約の終了日を変更することができます。サービスの終了日を特定の契約の終了日に合わせ、その契約にシングルステップで回線を追加することができます。これを同時終了（co-term）と呼びます。

次の表に、Cisco HX Data Platform ソフトウェア契約を同時終了するさまざまな方法の概要を示します。

同時終了の方法	説明
別の契約に合わせた調整による同時終了	ユーザの契約をもう一つの契約に合わせて調整します。
日付による同時終了	契約の開始日または終了日を更新します。

更新と同時終了の詳細については、次のリンクを参照してください。

- Cisco Commerce Workspace：サービス更新とソフトウェア サブスクリプション
- Cisco Commerce Workspace（CCW）：クイック リファレンス ガイド

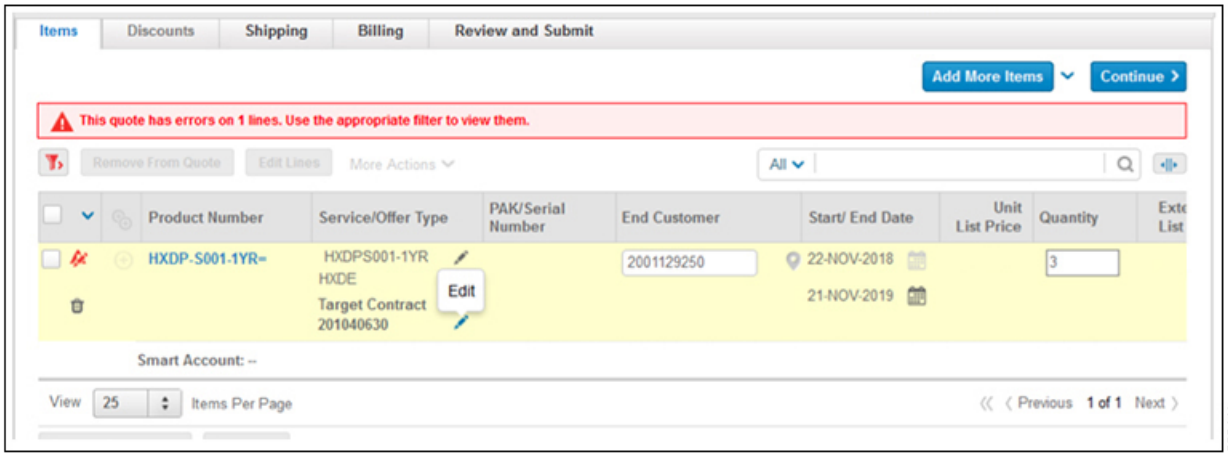
別の契約に合わせることで、次の手順を実行して、同時終了します。

ステップ 1 Webブラウザを起動し、Cisco Commerce URL に移動します。

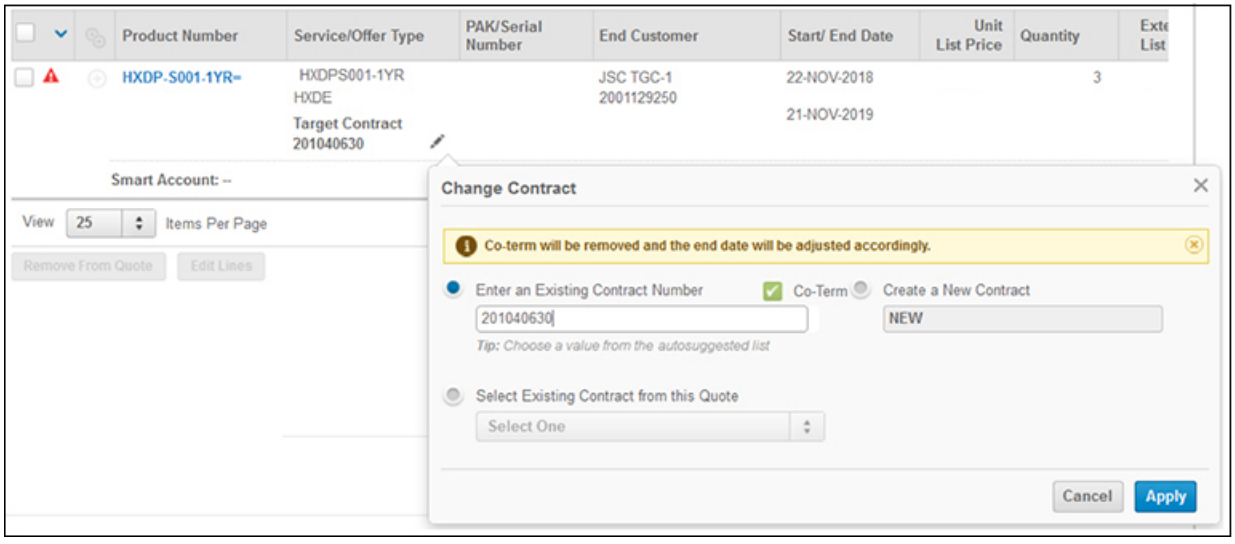
ステップ 2 Cisco.com のログイン画面で、Cisco.com のユーザ ID とパスワードを入力します。

ステップ 3 **[注文（Order）]** タブをクリックして、ユーザの注文に移動します。

ステップ 4 別の契約を使用して同時終了するには、**[対象契約（Target Contract）]** の横にある **[編集（Edit）]** アイコンをクリックします。。



ステップ 5 [同時終了（Co-term）]チェックボックスをオンにし、**[契約の変更（Change contract)]** ダイアログボックスで、**[既存の契約番号を入力する（Enter an Existing Contract Number）]** フィールドに契約番号を入力します。次に、**[適用（Apply）]** をクリックします。



日付による同時終了

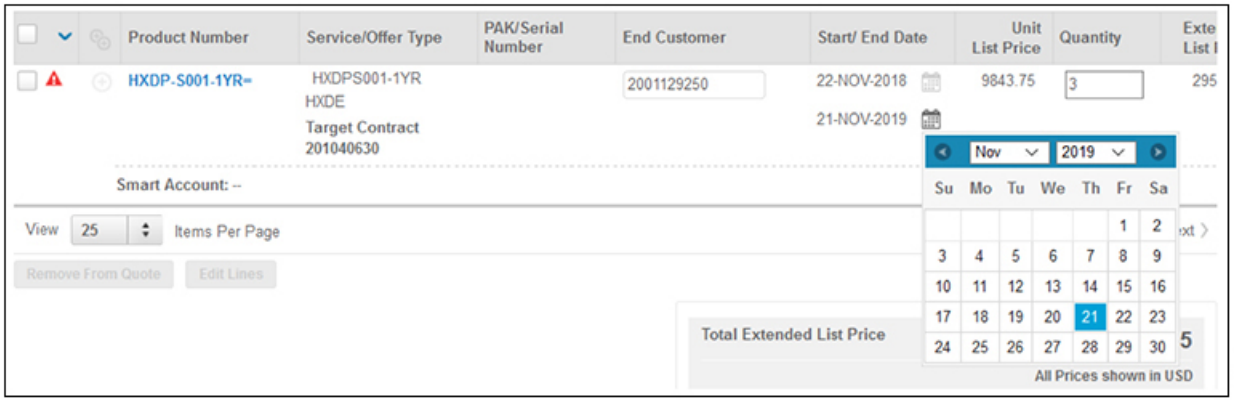
ステップ 1 Webブラウザを起動し、Cisco Commerce URL に移動します。

ステップ 2 Cisco.com のログイン画面で、Cisco.com のユーザ ID とパスワードを入力します。

ステップ 3 **[注文（Order）]** タブをクリックして、ユーザの注文に移動します。

ステップ 4 注文の **[品目（Items）]** タブで、**[開始/終了日（Start/End Dates）]** の日付をクリックします。[カレンダー（Calendar）] アイコンが表示されます。

ステップ 5 **[カレンダー（Calendar）]** アイコンをクリックして、日付を選択します。



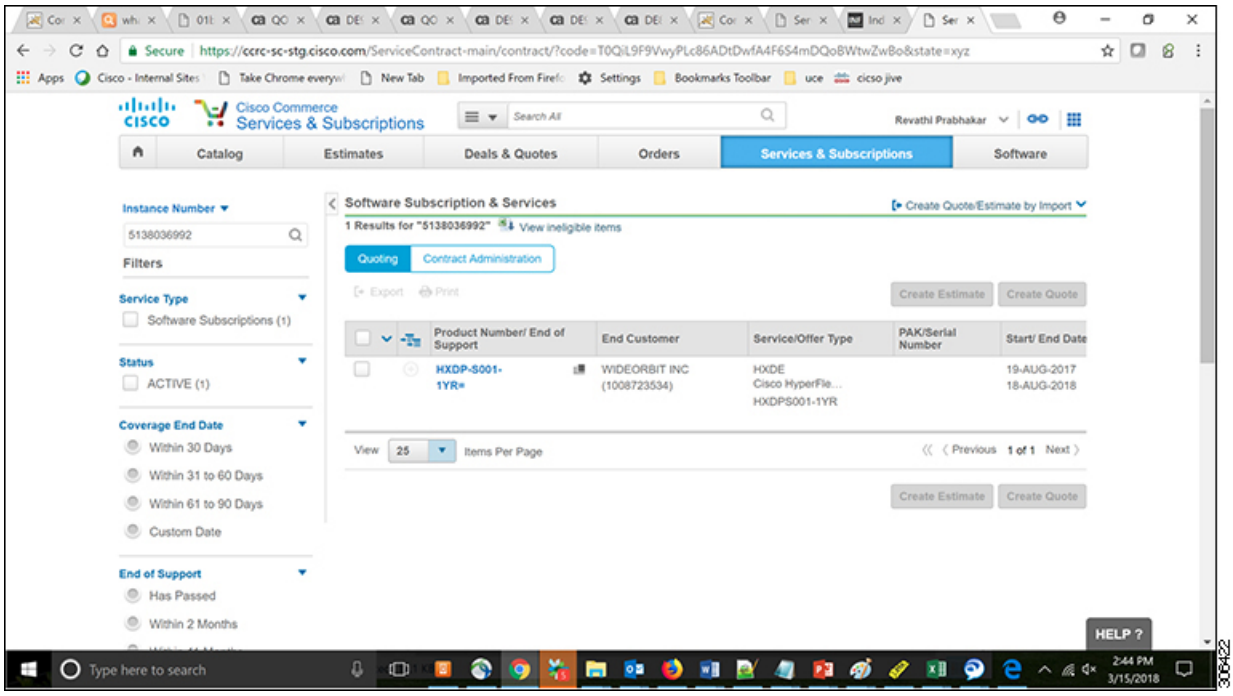
Cisco Commerce Workspace でケースを開く

カスタマー サービス セントラルは、Cisco Commerce システムに関する質問や問題について、最初に参照すべきサポートです。このセルフサービス ポータルでは、サポート ケースを作成、追跡、および管理することができます。

Cisco Commerce Workspace（CCW）でケースを開くには、次の手順に従います。

ステップ 1 Cisco Commerce - Build & Price にログインします。

ステップ 2 ページ下部の **[ヘルプ（Help）]** をクリックします。



ステップ 3 **[カスタマーサービスセントラル（Customer Service Central）]** ページで、**[ケースを開く（Open a Case）]** タブをクリックします。

ステップ 4 **[ステップ1 ケースの種類を選択してください（Step 1 Tell us what type of case）]** で、販売サポート、見積、注文、または契約およびライセンスなど、開くケースのカテゴリを選択します。

ステップ 5 **[ステップ2 問題について説明してください（Step 2 Describe the issue）]** で、フォームに問題の詳細情報を入力します。[Next] をクリックします。

ステップ 6 **[ステップ3 ケースの付加的な情報を入力してください（Step 3 Provide additional case details）]** で、必要な **[地域（Geography）]** および **[対象地域（Territory）]** フィールドに入力します。[Next] をクリックします。

ステップ 7 該当する場合は、**[ステップ4 連絡先の詳細を確認し送信します（Step 4 Confirm contact details and submit）]** で、オプションの **[別の担当者あり（This case has an alternative contact）]** および **[すべてのEメールのやり取りのコピーを別の担当者に送る（Send a copy of all email correspondence to another contact）]** チェックボックスをオンにします。[Submit] をクリックします。`